

給与支払報告書(個人別明細書) の記入例

<世帯構成>	
世帯主	芦北 一郎 (S41.4.5)
妻	みどり (S41.9.2)
長男	二郎 (H4.4.23)
次男	三郎 (H17.6.4)
長女	花子 (H24.11.6)
母	しげ (S10.8.1) 身体障害3級

◇「専従者給与の場合」は、必ず「専従者給与」と記入ください。

◇配偶者の所得が58万円(給与収入だと123万円)以下であるときは、配偶者控除が受けられるため「有」になります。70歳以上の場合は「老人」欄にも○を付けてください。

◇配偶者控除額又は配偶者特別控除額を記載してください。

◇小規模企業共済等掛金があれば、欄の上段に内書きし、下段に合計額をご記入ください。

【摘要欄】

◇「中途就職者」について、前職分の給与と合算して年末調整を行った場合には、摘要欄に前職分の給与支払者の所在地、名称、前職分の給与等の額、社会保険料の金額、源泉徴収税額、退職年月日をご記入ください。
※記載が無いと、前職分の金額が二重に計算されますので、必ずご記入ください。

◇控除対象扶養親族又は16歳未満の扶養親族が5人以上ある場合には、5人目以降の控除対象扶養親族又は16歳未満の扶養親族の氏名を記載します。この場合、氏名の前に「括弧書きの数字を付し」、「5人目以降の控除対象扶養親族の個人番号」又は「5人目以降の16歳未満の扶養親族の個人番号」の欄に記載する個人番号との対応関係が分かるようにしてください。

※摘要欄の名前は、○○(年少)と記載してください。
(扶養親族が芦北町外に居住している場合は、現住所も記載してください。)

◇ひとり親控除は、合計所得金額500万円以下で、か

◇寡婦控除は合計所得金額500万円以下で、離別で子以外の扶養親族がいる、又は死別(扶養親族の有

8 給与支払報告書(個人別明細書)	※区分		受給者番号	※種別	※整理番号
	支払いを受けれる者	住所	個人番号	個人番号	個人番号
芦北郡芦北町大字○△番地△					
受給者番号 (フリガナ) アンキタ イチロウ 氏名 芦北 一郎					
種別	支 払 金 額	給与	内 千 円	内 千 円	内 千 円
	8,400,000		6,460,000	3,399,860	80,100
(源泉控除対象配偶者)	配偶者(特別)	控除の額	内 千 円	内 千 円	内 千 円
老人	老人	老人	1	1	1
有(從有)	380,000				
410,000	124,800	726,860	120,000	3,000	130,000
(摘要欄) 前職:芦北町××(株)××工業 支払金額 750,000円 社会保険料 132,642円 源泉徴収税額 12,260円 令和6年3月31日退職					
生命保険料の金額	新生命保険料の金額	80,000	新生命保険料の金額	90,000	新生命保険料の金額
内訳	内訳	内訳	内訳	内訳	内訳
住宅借入金等特別控除適用	住宅借入金等特別控除適用	130,000	住宅借入金等特別控除適用	13,000,000	住宅借入金等特別控除適用
控除の額の内訳	控除の額の内訳	内訳	内訳	内訳	内訳
(源泉・特別)控除対象配偶者	個人番号	150,000	個人番号	159,600	個人番号
芦北 みどり	芦北 みどり		芦北 みどり	芦北 みどり	芦北 みどり
扶養親族	扶養親族	扶養親族	扶養親族	扶養親族	扶養親族
1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4
成年亡人	成年亡人	成年亡人	成年亡人	成年亡人	成年亡人
夫婦別居	夫婦別居	夫婦別居	夫婦別居	夫婦別居	夫婦別居
本人が障害者	本人が障害者	本人が障害者	本人が障害者	本人が障害者	本人が障害者
障害の種類	障害の種類	障害の種類	障害の種類	障害の種類	障害の種類
障害の度数	障害の度数	障害の度数	障害の度数	障害の度数	障害の度数
障害の年月日	障害の年月日	障害の年月日	障害の年月日	障害の年月日	障害の年月日
本人の障害者登録番号	本人の障害者登録番号	本人の障害者登録番号	本人の障害者登録番号	本人の障害者登録番号	本人の障害者登録番号
支払者	支払者	支払者	支払者	支払者	支払者
住所(居所)	住所(居所)	住所(居所)	住所(居所)	住所(居所)	住所(居所)
又は所在地	又は所在地	又は所在地	又は所在地	又は所在地	又は所在地
氏名又は名称	氏名又は名称	氏名又は名称	氏名又は名称	氏名又は名称	氏名又は名称
(株) ○△商事	(株) ○△商事	(株) ○△商事	(株) ○△商事	(株) ○△商事	(株) ○△商事
(電話) 0966-82-○□○×	(電話) 0966-82-○□○×	(電話) 0966-82-○□○×	(電話) 0966-82-○□○×	(電話) 0966-82-○□○×	(電話) 0966-82-○□○×

◇給与支払報告書の「個人番号」、「住所」、「氏名(フリガナ)」及び「生年月日」は正確に、もれなくご記入ください。
(令和8年1月1日現在の状況を本人にご確認ください。)

◇「老人扶養者」の総数を右欄、その中に同居老親の数を左欄にご記入ください。

◇「控除対象配偶者・扶養者」のうち別居の特別障害者の総数を右欄、その中に同居の特別障害者の数を左欄にご記入ください。

生命保険料の控除欄

◎生命保険料の控除額欄(上段)には、各保険料額から計算した金額をご記入ください。

◎各保険料欄(下段)は実際に支払った保険料額を記入してください。

◇「住宅借入金等特別控除可能額」は計算書の金額をご記入ください。
所得で引ききれなかった場合は、住民税から控除しますが、「年末残高」、「特別控除可能額」、「居住開始年月日」など必要項目をもれなく記入してください。

※住民税控除額に影響しますので、下記の「区分」も必ず記入してください。

【区分】

「住」…一般の住宅借入金等特別控除(一般の増改築含む。)

「認」…認定住宅新築等特別控除

「増」…特定増改築等住宅借入金等特別控除

「震」…震災特別法第13条の2第1項適用

該当住宅の取得等が特定取得に該当する場合は、区分欄に「(特)」と記入、特別取得・特例特別取得に該当する場合は、区分欄に「(特特)」と記入、特例特別取得に該当する場合は、区分欄に「(特特特)」と記入してください。

(例:一般の住宅借入金等特別控除で特定取得の場合は「住(特)」)

◇所得金額調整控除の適用がある場合のみ記入します。

◇本人の合計所得金額に対応した控除額を記入します。

◇「控除対象配偶者」・「控除対象扶養親族」・「特別控除対象親族」の氏名(フリガナ)及び個人番号はご確認の上、必ず記入してください。

※特定親族特別控除に該当する場合、「区分」欄へ控除額に応じた数字を記入します(詳細は国税庁HP内「令和7年分給与所得の源泉徴収票等の法定調書の作成と提出の手引き」より項目第2「給与所得の源泉徴収票(給与支払報告書)」をご参照ください)。

また、住民税非課税基準額の計算に必要となりますので、16歳未満の扶養親族の氏名および個人番号も必ず記入してください。

◇中途就・退職があった場合は、年月日を正確にご記入ください。

◇支払者欄の「個人番号又は法人番号」の欄には、給与の支払をする方の個人番号又は法人番号を記載してください。

※個人事業主の個人番号を記載する場合は、左側を1文字空けてご記入ください。